



円滑な日常生活と自立を支援します ―南丹市福祉有償運送セダン型車両特区―



福祉活動の向上に大いに期待されます

国の構造改革特別区域計画認定式において、南丹市が申請していた「南丹市福祉有償運送セダン型車両特区」が平成十八年七月三日付けで認定され、七月二十八日に東京都

の総理官邸で、認定授与式が行われました。

認定授与式には佐々木市長が出席し、小泉内閣総理大臣から認定書が渡されました。

以前から一般の交通機関を利用することが困難な高齢者等に対し、利用者の居宅と福祉サービスを提供する場所や医療機関等との間を南丹市社会福祉協議会、南丹市福祉シニア人材センターなどが移送する外出支援サービス事業を行っています。これまで旧園部町・旧八木町は、福祉車両（車いす用リフト等を設置した車）のみによって、外出支援サービスを行っていましたが、今回の「南丹市福祉有償運送セダン型車両特区」の認定によりセダン型の一般車両でも移送できるようになりました。

これにより南丹市での福祉事業における福祉車両を利用した輸送効率がよくなります。



テープカットで完成を祝いました

安心・安全を消防から ―園部消防署日吉出張所しゅん工式―

七月三十一日、日吉町胡麻に建設された園部消防署日吉出張所のしゅん工式が行われました。敷地内にはクライミングウォール（ロッククライミングの模擬訓練塔）が整備されたほか、高度救命体制にとられており、救急現場における傷病者への応急処置技術の向上が図られることとなります。式では、日吉出張所中野好三所長が「地域の安全を守るため、職員一丸となつてまい進みます」と決意が述べられるなど、防災への決意を新たにされました。

人権について考えよう ―人権強調月間啓発運動―



美山町で行われた人権啓発活動

京都府では、毎年八月を「人権強調月間」として京都府人権啓発推進会議が中心となり、あらゆる差別の撤廃や人権意識の普及・啓発、基本的人権の擁護を広く住民に知ってもらうため、府内一斉に街頭啓発を行っています。

南丹市では八月二日に市内各地で、人権擁護委員や社会福祉協議会などのメンバーが集まり、「人と人の交流を進め、豊かな人間関係を築きましよう」と声をかけて啓発広告入りのキッチンタオルを渡して、人権の大切さを訴えました。